

まちづくり懇談会



情報提供内容

- 町からの情報提供として、担当課から6つの内容を説明しました。
- ①開拓130年・町制施行70年記念式典
 - ②避難行動要支援者名簿
 - ③第6次総合計画「後期実施計画」の策定
 - ④出前型政策・施策説明会の活用
 - ⑤健康づくり
 - ⑥北海道見舞金&全国子ども会安全共済保険の加入



回答 これまでの課題や現状を精査し、関係機関・団体などと調査・研究・協議をさせていただきながら、町民の意見も踏まえて

官民協働の除排雪システム

質問 「長寿社会を健康で豊かに生きるまち！安心・安全な暮らしを守る」の中にある新規事業「官民協働の除排雪システム」を、具体的にどのような形で進めていくのか。



効果的な事業などを提示し「官民協働の除排雪システムづくり」を進めたい。先進地で小型除雪機の貸出制度を作っている自治体や、除雪の際に雪が残らないよう対策を行っているところもある。これらの調査・研究を行った上でモデル的に実施し効果を発するのかどうかを確認していく。



※紙面の都合上、懇談内容の一部のみを掲載しています。町ホームページで、懇談会の議事録や町からの情報提供資料を閲覧することができます。
トップページ→「行政・まちづくり」→「協働のまちづくり」



町民の声を広く行政に反映させることを目的とした「まちづくり懇談会」が6月1日、総合福祉センター「しゃるる」で開かれました。今回は町内会長・自治会長を対象に開催し、前半は佐々木 学町長が「今後のまちづくり」をスライドで説明。後半は事前に受け付けた質問・意見への回答と担当課からの情報提供を行い、自由懇談を含めて約2時間にわたり、「栗山新時代」に向けて語り合いました。

JR室蘭線

質問 「長寿社会を健康で豊かに生きるまち！安心・安全な暮らしを守る」の中の「JR利用促進事業に取り組みます」に関連して、JR室蘭線がどのようなものか聞きたい。

回答 国・JR・道・沿線自治体という仕組みの中で、協議の場を設けながら費用負担の問題、さらには利用促進策といった内容を議論していくことになる。JRの経営状況は、室蘭線だけで年間損益が12億円の赤字であり、JR単独の対応は難しく、国・道の支援さらには、JRの経営努力、そして沿線自治体の費用負担ということになっていくと考えている。

防災対策・交通安全対策

要望 角田幹線排水路の地中化について、防災対策の面で国への要請などの対応をお願いしたい。また、栗山高校周辺の交通安全対策についても、高校生に對

する安全面から強く要望してもらいたい。町内会としても協力していきたい。

平成30年度からの国保

質問 平成30年度からの国保について、北海道が保険者になるが、町も保険者の一端を担うのか。また、決算が不足してきたときに町から繰入金が出されるということがあるのか。

回答 保険者は共同となり、道が財政面を主体的に担い、市町村は従来どおり、窓口での医療費立替払いや保険証の交付、課税・徴収、各種保険活動を行う。町からの繰入金金は、道全体が一つの保険者にまとまることになり、その中で、道と市町村で納付金や負担金など金銭のやり取りが出てくる。平成30年度については、2年前（平成28年）の医療費実績をもとに国、道の補助金などが積算され、当初の金額が決められている。平成30年度分が不足してしまうからといってすぐに基金を取り崩すなどとい

うことはなく、次年度以降に精算分を含めて対応していく。

栗山天満宮例大祭

意見 栗山天満宮例大祭は、大変にぎわいがあり、無くすことのできないイベントではないかと考えている。渋滞緩和のための道路の拡幅などは難しいと思うが、地域おこしという観点で積極的に取り組んでほしい。また、宣伝などに対する助成をしてはどうか。

回答 交通渋滞に関しては、開発局と話を進めている。岩見沢方面から右折するレーンがない交差点が7つほどあるので、右折レーンを整備し、将来的に4車線化を要望していくなど、アドバイスをいただいている。道路改良も含めて、渋滞緩和に対する道路拡幅の要望をしていきたい。栗山天満宮例大祭は、今年から実行委員会形式で全町挙げての祭りとして進めていく予定であり、神事と祭りを切り分けて、「栗山町の

ふるさととは栗山です。

開拓 130 年・町制施行 70 年

ふるさと栗山を次世代に

本町は今年、明治 21 年に開拓の鍬が打ち下ろされて以来、130 年を迎えました。昭和 24 年の町制施行を経て今日、南空知の中核都市として力強く歩み続けています。

本町発展の歴史を振り返り、この地を真の理想郷として開拓に心胆を傾け、未開の大地に挑んだ先人のご苦労に対し感謝と敬意を表するとともに、不屈のフロンティア精神を次世代に引き継ぎ、「ふるさと栗山」の輝かしい未来を築いていかなければなりません。

ふるさと栗山 130 年の歩み

明治 21 年	▶アノロ川右岸（現角田）に 24 人入植
明治 23 年	▶角田村の村名公称
明治 33 年	▶角田村戸長役場設置
大正 8 年	▶角田、栗山市街に電灯がつく
昭和 24 年	▶町制施行、栗山町と改称
昭和 38 年	▶役場庁舎を市街地へ移転
昭和 53 年	▶町民憲章、町花「ゆり」、町木「くり」制定
昭和 63 年	▶開基 100 年・町制施行 40 年記念式典挙行
平成 18 年	▶町議会が全国初議会基本条例制定
平成 22 年	▶雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスが本格オープン
平成 25 年	▶自治基本条例制定

町では、開拓 130 年・町制施行 70 年の年に、まちづくりに対する新たな思いを共有するため、次のとおり記念事業を行います。

【記念事業の概要】

- ①記念式典
(日時) 11 月 18 日(日) 10:00～
(場所) カルチャープラザ「Eki」
- ②冠事業
町内各種イベントなどに「栗山町開拓 130 年・町制施行 70 年記念協賛」の表示を依頼
- ③特別功労者表彰
開基 100 年以降の 30 年間で、本町の振興・発展に寄与した方を表彰

④町勢要覧の発行

【他事業との連携】

「北海道介護福祉学校開校 30 周年」「宮城県角田市との姉妹都市締結 40 周年」「北海道 150 年記念『北海道みらい事業』」「北海道日本ハムファイターズ関連事業」

栗山町開拓 130 年記念 協賛事業を募集します

開拓 130 年を記念し、町内団体やグループ、企業などが行うイベントなどを募集し、協賛事業として支援します。

【支援内容】

- 「栗山町開拓 130 年記念」名義使用
- 広報くりやま・町ホームページなどによる事業内容の周知

【募集要件】

- 原則として町内で行われる事業
- 一般に公開され、誰もが参加できる事業
- 平成 31 年 3 月 31 日までに行われる事業

【申込先・問い合わせ】

総務課総務グループ ☎ 72-1111



【会場略図】



第43回 くりやま夏まつり

7月21日(土)

時 間	主なイベント内容	場 所 (左図)
11:00～	食の祭典「うまいもん広場」	④
13:30～	パトカーなどの無料乗車体験	①
14:00～	ダイヤモンドアート&似顔絵ペンダント	④
16:00～	子どもみこし	①→④
17:00～	郷土芸能パレード	①→③
18:00～	爆笑ものまねライブ	④
18:30～	YOSAKOI ソーラン in くりやま	①→④

※詳細は随時、くりやまイベント情報サイト「KURIYAMA Fes.com」、町および栗山商工会議所ホームページに掲載します。

7月21日・22日開催

7月22日(日)

時 間	主なイベント内容	場 所 (左図)
11:00～	食の祭典「うまいもん広場」	④
14:00～	酒井あさ美&城山さとみミニステージ	④
14:30～	カラオケ発表会	④
18:00～	活みこし	①→④
20:00～	打ち上げ花火	(注)

※プログラムは、町内の新聞に折り込みます。
※都合によりイベント内容・時間の変更があります。
(注) 打ち上げ花火は、駅前通り商店街内でご覧ください。
【問い合わせ】 くりやま夏まつり実行委員会 ☎ 72-1278

【開催場所】

カルチャープラザ「Eki」、駅前広場、駅前通り商店街
※今年は、駅前通り商店街のほか、カルチャープラザ「Eki」周辺も加えて開催します。





JR 北海道 平成 29 年度決算状況

JR 北海道の鉄道単体における平成 29 年度決算では、北海道新幹線の開業ブームが落ち着いた一方、外国人観光客の利用者増や空港アクセス輸送と札幌圏での利用が増えたことなどにより、営業収益は前年度並みの 897 億円となりました。

しかし、その一方で鉄道の安全を維持するための修繕費や除雪費などが昨年度より 30 億円増加し、営業費用は 1,422 億円となり、営業利益は 525 億円の赤字となっています。

また、ホテルや不動産業などを含めた JR 北海道グループ全体においても、営業利益は 416 億円の赤字。これに、基金運用益を加えた経常利益においても 106 億円の赤字となり、連結決算を始めた平成 11 年度以降、過去最大の赤字となりました。

今後はより一層の経営改善と経営努力が求められています。

第 63 回とまこまい港まつり



メイン会場の中央公園までは、JR 苫小牧駅から徒歩 10 分。ぜひ、この機会に JR 室蘭線に乗ってご家族、ご友人と一緒に出かけませんか。

【日 程】8 月 3 日(金)～5 日(日)
【場 所】中央公園
(苫小牧市若草町 2)
【問い合わせ】苫小牧港まつり実行委員会
☎ 0144-33-2233

7 月 16 日限定

道内の普通列車が乗り放題

道みんなの日記念・日帰り周遊パス

【利用日】7 月 16 日(祝)
【パス料金】大人 3,500 円、子ども 500 円
【発売期間】7 月 15 日(日)まで
【発売場所】JR 北海道の主な駅の指定席券売機、みどりの窓口、旅行センター など

JR 室蘭線沿線 5 首長と知事との意見交換会を開催

JR 北海道が「単独では維持困難」とする JR 室蘭線(岩見沢～沼ノ端間)沿線 5 市町の首長と知事、JR 北海道との初の意見交換会が 5 月 30 日に岩見沢市で開催されました。

意見交換会では、各市町の首長が、通学・通院などの足として必要であるとの共通認識を示し、JR 室蘭線の存続をあらためて確認しました。

本町も、JR 室蘭線は町民にとっては欠かすことのできない公共交通であり、現在栗山駅を核とした中心市街地の再生事業を進めています。

今後も、沿線自治体と更なる利用促進策に加え、存続に向けた議論をしっかりと進めていきます。

－ 高橋知事が駅周辺を視察 －

5 月 30 日の意見交換会終了後、高橋はるみ知事が JR 室蘭線に乘車して、栗山駅の周辺を視察しました。

佐々木町長から、新町通りの再生整備事業の説明を受けた後、駅前通り商店街にある「クリエイターズマーケット」(旧広瀬商店)を視察しました。



北海道日本ハムファイターズ 栗山町民応援観戦ツアー

栗山町応援大使との記念撮影、特製ステッカー配布など特典満載の応援観戦ツアーを行います！今回は、子どもたちにプロスポーツを観戦する機会を提供するため、中学生以下の子どもを含むグループを優先招待します。

ぜひ球場で、栗山町応援大使の宮西尚生選手、浅間大基選手を全力で応援しましょう！



【日程】

試合日	試合開始時間	人数	席種	対戦相手	場所
8 月 25 日(土)	15:00	80 人	S 指定席 ※塁側は選べません。 ※変更する場合があります。	VS 東北楽天 ゴールデンイーグルス	札幌ドーム

※必ず参加できる方のみでの申し込みに限らせていただきます。

【対象者】栗山町民の方(中学生以下の方のみでの申込不可)

※4 歳以上からチケットが必要になります。(4 歳未満でも座席を確保する場合はチケットが必要)

※中学生以下の子どもを含まないグループも、申し込み可能です。(申込多数により抽選となった場合、中学生以下の子どもを含むグループを優先)

【申込方法】

役場・総合福祉センター「しゃるる」・農村環境改善センター・南部公民館・まちの駅「栗夢プラザ」・カルチャープラザ「Eki」に備え付けの申込用紙に記入し、下記申込先へ直接持参または FAX・郵送で送付あるいは申込内容を電話またはメールで連絡。(持参および電話の受け付けは、平日の 8:30～17:15 に限る)

※申込用紙は、町ホームページからもダウンロードできます。

【注意事項】

①申し込みは 1 組 2 人までとし、同一人を含む複数の申し込みは無効

②申込多数の場合は抽選

※中学生以下の子どもを含むグループを優先して抽選します。

③抽選結果は、当選者にのみ郵送で通知。(お知らせは 8 月上旬頃を予定)

※応援大使との記念撮影は、当日の一軍登録選手に限りです。

※応援大使と記念撮影をするなどの団体行動となるため、送迎バスのご利用が必須となります。(バス代 1 人 1,500 円)

※チケットの受取方法・バス利用の詳細などは、当選通知時にご案内させていただきます。

【申込締切】7 月 25 日(水) 17:15 まで

【申込先・問い合わせ】

町経営企画課地域政策グループ

☎: 73-7502 FAX: 72-3179 メール: tiikiseisaku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp



7 月 27 日(金)～29 日(日)開催

なまらうまいっしょ！グランプリに出展します

《北海道シリーズ 2018 "HOKKAIDO be AMBITIOUS"》とく北海道 179 市町村応援大使の連動企画として開催される「第 9 回なまらうまいっしょ！グランプリ」(北海道内 18 市町村のイチオシグルメが札幌ドームに集結するイベント)に、本町から「くりやまコロッケ」が出展します。ぜひ、ご来場ください！

【開催日時】

7 月 27 日(金) 15:00～7 回裏終了後

VS オリックス・バファローズ(18:00 試合開始)

7 月 28 日(土)・29 日(日) 11:00～7 回裏終了後

VS オリックス・バファローズ(14:00 試合開始)

【場 所】札幌ドームオープンテラス

起業に必要な経費は隊員の自己資金のほか、地域おこし協力隊の起業を支援する国の財政支援制度を活用。さらに、ふるさと納税制度を利用した資金募集のしくみ「ガバメントクラウドファンディング」を活用します。

ふるさと納税と聞くと、お礼の品目当てで寄附する自治体を探すものと思われがちですが、地域の課題を解決するための具体的なプロジェクトを訴え、その共感者から寄附を募るといった仕組みです。

隣の夕張市では昨年「夕張高校の魅力化事業」を掲げ、特別授業や公設塾運営などの費用700万円を募ったところ、2千万円を超える寄附が集まりました。

本町でも、まずは本プロジェクトを達成して起業を成功させ、この取り組みをモデルに次なるプロジェクトへ展開していきたいと考えています。

※ふるさと納税については、プロジェクトの進捗状況と併せて来月号で詳しく解説します。

ふるさと納税制度の活用も

起業します！ 栗山町地域おこし協力隊



今年 11 月 駅前商店街に「カフェ&バー」オープン

平成 28 年 4 月に、地域おこし協力隊として栗山町へ移住した石井翔馬隊員と高橋毅隊員。まちの情報発信やふるさと納税の PR 活動などを通して町民と話をするうちに、

- 若者が集まれる場、輝ける場が少ないことから、若者たちが少なくなっているのではないかな？
- 町外の情報発信が足りないから栗山町の知名度が低いのではないかな？
- 栗山にきた人にまちの魅力を伝える場所が少ないのではないかな？

と考えるようになり、

- 若者でにぎわい、新しい出会いやアイデアが生まれる場所
- 栗山の特産品が気軽に食べられる場所
- 全国にまちの情報を発信する場所

そんな役割を担う「カフェ&バー」の開店を決意しました。

今年 7 月から商店街の空き店舗を一部手作業で改修し、11 月にプレオープン、平成 31 年 4 月にグランドオープンを目指します。

皆様のご協力をお願いします

本プロジェクトでは、町民からも寄附を受け付けています。目標額達成のためには皆様のご協力が必要です。ご支援のほどよろしくお願いします。

申込方法や控除の仕組み、プロジェクト概要の詳細は、経営企画課までお気軽にお問い合わせください。

※寄附者全員にカフェ&バーで利用できるワンドリンクチケットや報告書をお送りするほか、寄附の内容に応じて店舗にお名前の刻印などの対応をさせていただく予定です。

【平成 30 年度の栗山町地域おこし協力隊員】

くりやまちょう PR 隊 4 人 WEB・SNS での情報発信、ふるさと納税の推進 	就農研修生 3 人 新規農業参入に向けた農業研修 	農業支援員 2 人 新規農業参入希望者受入支援、都市・学生と農村交流推進
--	---	---

「地域おこし協力隊」まちおこしをしながら栗山町の定住を目指す

都市から地方へ移住し、地域おこし活動を行いつながら、その地域への定住を目指す「地域おこし協力隊」。

町では、平成 27 年度からこの制度を活用し、これまでに 21 人の隊員を受け入れ、うち 6 人が任期満了後、就農や町内事業所へ就業し定住しています。

平成 30 年度は、左記のとおり 9 人の隊員が活動しています。

まちの情報発信やふるさと納税を通して栗山町の知名度向上、交流人口増加を目指す地域おこし協力隊「くりやまちょう PR 隊」。

協力隊の任期最終年度となる 3 年目を迎えた石井翔馬隊員と高橋毅隊員の 2 人が、まちの活性化と栗山への定住を目指しカフェ&バーの開店に挑戦します（11 月オープン予定）。新規農業参入を除くと、協力隊員が町内で起業するのは今回が初めて。

町では、彼らの起業を支援し、まちへの定住を図るべく、国の財政支援制度などを活用した起業家支援事業（補助金）を実施し、本プロジェクトをモデルに、後輩隊員へとチャレンジの輪を広げていきたいと考えています。

地域おこし協力隊の起業を支援し定住を目指す



栗山町地域おこし協力隊「くりやまちょう PR 隊」メンバー



1 年目／苫小牧市出身
井上 彩乃

駒澤苫小牧高校吹奏楽部として甲子園に出場。高校卒業後 10 年以上東京で生活するも、大好きな北海道への U ターンを決意し 4 月に栗山町へ移住。



1 年目／栗山町出身
金谷 美咲

栗山生まれ栗山育ち、生粋の栗っ子。大手旅行会社に勤めるも、栗山愛を抑えきれず U ターン。カフェ&バーに併設するゲストハウス準備を担う。



3 年目／神奈川県出身
高橋 毅

「北海道じゃらん」、WEB メディアなどの職を経て心機一転、憧れの北海道へ移住。石井隊員と「合同会社オフィスくりおこ」を起業。



3 年目／埼玉県出身
石井 翔馬

管理栄養士・調理師としてのキャリアを生かし、カフェ&バーの開店に挑む。4 月に「合同会社オフィスくりおこ」を起業、代表を務める。